

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名【新】技術活用型スタートアップ掘り起こし・加速化支援事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部商業・金融課資金融資係 電話番号：058-272-1111(内3063)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,677 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,677	4,810	0	0	0	0	0	0	4,867
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

コロナ禍を経て、生活様式などが大きく変化し、社会ニーズの変化が既存事業の在り方をも変化させている。こうした背景にあって、地域経済の発展に向けて、アフターコロナ時代を担う新たな事業の担い手の発掘・育成が急務となっている。

過去5年間で県内の研究機関が採択された研究費の総額は約113億円、研究課題は1,776件あり、県内のスタートアップのポテンシャルは十分にある（「日本の研究.com」による集計、2016年度～2020年度）。

このような中、技術力をもった新事業は、他との差別化など優位性を保ち成長することが期待され、県経済を支える産業のひとつとして集中支援すべき対象である。

(2) 事業内容

○技術活用型スタートアップ掘り起こし・加速化支援事業

各大学で研究の企画・活用促進を行うURA（リサーチ・アドミニストレーター）等と連携し、コミュニケーターによる面談で起業ニーズ等を探ることで、スタートアップの掘り起こしを行う。

審査により重点的に加速化支援を実施する者を採択し、コミュニケーターによる面談等により事業の加速化支援を実施する。また、支援の実施後には成果を発表する報告会を行う。

○技術活用型スタートアップ起業家交流会

岐阜県内における起業家や起業を目指す方を中心に技術活用型事業を実施する先輩起業家を招聘し、その経験について話す機会を年4回程度設け、起業への機運醸成や事業化への足掛かりを作る。

(3) 県負担・補助率の考え方

新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手の創出は県経済の振興につながるものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳 (単位：千円)

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	9,622	・ 技術活用型スタートアップ掘り起こし・加速化支援事業 8,059千円 内訳：人件費（6,160千円）、旅費（480千円）、印刷製本費（5千円）、会場使用料（15千円）、管理費等（1,399千円） ・ 技術活用型スタートアップ起業家交流会 1,563千円 内訳：人件費（864千円）、旅費（240千円）、講師謝金（120千円）、印刷製本費（8千円） 会場使用料（60千円）、管理費等（271千円）
事務費	55	・ 執行団体のプロポーザル選定に係る事務費 55千円 内訳：選定委員 謝金 32千円 選定委員 費用弁償 11千円 消耗品 3千円、会議費 1千円 会場使用料 5千円、通信運搬費 3千円
合計	9,677	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

該当なし

(2) 国・他県の状況

他県（福島県、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、滋賀県、大阪府、岡山県、広島県、香川県、熊本県、鹿児島県）においても同様の取組みを行い、技術力をもった新事業を支援している。

近隣県（愛知県、三重県）では、同様の取組みは行っていない。

(3) 後年度の財政負担

県が公募し決定した事業者に対し、業務委託料10/10で委託を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

技術活用型スタートアップ企業の技術シーズの発掘は、技術の目利きが必要となるうえ、加速度的な成長には資金調達や事業マッチングなどのノウハウが求められる。

このため、これらノウハウを有する事業者の手法を導入するため、プロポーザル方式により委託する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・技術活用型シーズの掘り起こしから事業の加速化支援を行うことで、県内スタートアップ企業の創出を図る。
- ・創業間もない起業家が、先輩経営者からアドバイスを受けて、出会える場を設けることにより、起業家の成長を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①加速化支援件数	0			5	15 (R4～R6累計)	
②起業家交流会参加者数	0			80	240 (R4～R6累計)	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など